

第32回全日本室内アーチェリー選手権大会 開 催 要 項

(独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ団体大会開催助成事業)



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1. 主 催 公益社団法人全日本アーチェリー連盟
2. 主 管 高知県アーチェリー協会
3. 後 援 高知県(予定) 公益財団法人高知県スポーツ協会(予定)
4. 日 程 2023年 2月11日(土) ～12日(日)

2月11日(土)	予選ラウンド 第1部	(RC男子・小中学生男子・CP女子・BB女子)
	8:30～	受付
	8:40～ 9:30	用具検査
	9:35～ 9:55	競技説明・諸注意
	10:00～10:30	練習
	10:40～13:10	予選ラウンド(60射 2立で進行)
	13:40～	通過者発表
	予選ラウンド 第2部	(RC女子・小中学生女子・CP男子・BB男子)
	11:00～	受付
	12:00～13:00	用具検査
	13:10～13:25	競技説明・諸注意
	13:30～14:00	練習
	14:10～16:40	予選ラウンド(60射 2立で進行)
	17:10～	通過者発表
2月12日(日)	8:00～	開場
	8:30～ 8:50	練習(RC男子・RC女子)
	9:00～	イリミネーション～ファイナルラウンド(全部門)
	16:30～	成績発表・表彰式

※ 競技の進行状況により、時間は変更になる場合がある。

5. 会 場 高知県立春野総合運動公園 体育館
〒781-0311 高知県高知市春野町芳原2485
TEL 088-841-3105(代表) FAX 088-841-3107
<https://www.kochi-haruno.org/access>
6. 競 技 種 目 インドアマッチラウンド
リカーブ部門およびベアボウ部門はセットシステム、コンパウンド部門は合計得点制
※ 的紙は40cm縦三つ目標的面を使用する。小中学生の部は40cm標的面を使用する。
7. 競 技 規 則 全日本アーチェリー連盟競技規則2022～2023年(ターゲットアーチェリー)による。

8. 参 加 定 員

部 門	種別	選考対象	定 員	
リカーブ部門	一般男子	前年度優勝者	1名	64名
		18mラウンド記録選考	63名	
	一般女子	前年度優勝者	1名	40名
		18mラウンド記録選考	39名	
	小中学生男子	18mラウンド記録選考	12名	
	小中学生女子	18mラウンド記録選考	12名	
コンパウンド部門	男子	前年度優勝者	1名	24名
		18mラウンド記録選考	23名	
	女子	前年度優勝者	1名	12名
		18mラウンド記録選考	11名	
ベアボウ部門	男子	前年度優勝者	1名	12名
		18mラウンド記録選考	11名	
	女子	前年度優勝者	1名	8名
		18mラウンド記録選考	7名	
	合 計			184名

※ リカーブ部門の小中学生の部への出場資格は中学生以下とする。但し、中学生以下の選手が参加申請時に一般部門へ参加を申し込んだ場合、一般部門での表彰対象とする。

※ 各部門・種別の参加申し込み人数が定員に満たない場合、その不足人数を他の部門・種別に割り当てることがある。

※ 主管する加盟団体は各部門・種別1名以内(合計8名以内)の選手を推薦できる。
なお、この推薦選手は定員の人数に含まれる。

9. 予選通過人数

部 門	種 別	通過人数
リカーブ部門	一般男子	32名
	一般女子	20名
	小中学生男子	4名
	小中学生女子	4名
コンパウンド部門	男子	8名
	女子	4名
ベアボウ部門	男子	4名
	女子	4名

10. 表 彰

部 門	種 別	通過人数
リカーブ部門	一般男子	1位～8位
	一般女子	1位～6位
	小中学生男子	1位～3位
	小中学生女子	1位～3位
コンパウンド部門	男子	1位～3位
	女子	1位～2位
ベアボウ部門	男子	1位～3位
	女子	1位～2位

11. 参 加 資 格

- ① 競技日程の全スケジュールに参加可能な者(但し、途中敗退の場合は除く)。
- ② 2022年度(公社)全日本アーチェリー連盟に競技者登録済みの者。
- ③ リカーブ部門一般、コンパウンド部門およびベアボウ部門男子については、シルバーバッジ(インドア)以上の所持者。ベアボウ部門女子については、ブロンズバッジ(インドア)以上の所持者。リカーブ部門小中学生についてはグリーンバッジ以上の所持者。
- ④ 第31回全日本室内アーチェリー選手権大会の優勝者(リカーブ部門小中学生の部を除く)。
- ⑤ 第13項の選考対象期間に開催された18mインドアラウンドの公認競技会において、下記⑥以上の記録を有する者。
- ⑥ 申請記録

部 門	種 別	18mインドアラウンド
リカーブ部門	一般男子	560点
	一般女子	550点
	小中学生男子	530点
	小中学生女子	520点
コンパウンド部門	男子	560点
	女子	550点
ベアボウ部門	男子	500点
	女子	480点

12. 選 考 方 法

- ① シード選手:第31回全日本室内アーチェリー選手権大会優勝者(リカーブ部門小中学生の部を除く)
前回大会優勝者が辞退した場合、2位からの繰り上げは行わず、欠員分は記録選考枠に組み入れる。
- ② 申請記録の上位者から選考する。但し、申請点が同点の場合、2番目の公認記録が上位の者を選考する。
この記録は申請基準点を越えなくてよい。それでも同点の場合は、全国大会→地区大会→都道府県大会の順で選考する。それでも決定できない場合は、選考委員による抽選で決定する。
- ③ 主管する加盟団体は、各部門・種別1名以内(合計8名以内)の選手を推薦できる。
- ④ 各部門・種別の参加申し込み人数が定員に満たない場合、その不足人数を他の部門・種別に割り当てること
がある。

13. 選考対象期間

2022年 1月 4日(火)から2023年 1月 9日(月)まで

なお、第31回全日本室内アーチェリー選手権大会の記録も対象とする。

14. 参 加 費

一般 : 10,000円 小中学生 : 5,000円

15. 申 込 方 法

- ① 前記の資格を有する者は、別紙「個人申請書(単票)」に必要事項を記入して加盟団体へ申し込むこと。
この「個人申請書(単票)」の内容が間違いないか申請者および加盟団体が必ず確認して申し込むこと。
- ② 加盟団体は上記①「個人申請書(単票)」を基に「出場資格申請書一覧」を作成する。
- ③ 加盟団体は上記②「出場資格申請書一覧」を一括して、Eメールにて連盟事務局へ申し込むこと。
- ④ 車椅子・左射ち・マウスタブ等、立順などに配慮が必要な選手は、その旨を備考欄へ記入すること。
- ⑤ 選考決定後の辞退はできないので注意すること。
- ⑥ 選考会議により出場選手が決定したら、直ちに加盟団体に選考結果を通知する。
- ⑦ 加盟団体は選考結果通知後1週間以内に下記指定口座に参加費を振り込み、その控えまたはコピーを別紙
納付書に添えて全ア連に送付すること。
振込先 名義 : 全日本アーチェリー連盟

銀行口座 みずほ銀行 渋谷支店 普通 No.1581848

16. 申 込 先 メールアドレス : entry@archery.or.jp

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 707号室

公益社団法人 全日本アーチェリー連盟

TEL:03-6459-2812 FAX:03-6459-2813

17. 申 込 期 日 2023年 1月17日(火) 午後5時 厳守 ※ 選考会議 1月 21日(土)

18. そ の 他

- ① 矢取り代行が必要な場合は各自で準備すること。
- ② 選手は指定された時間に、受付および用具検査を受け、開始式の時は会場内にいること。
- ③ 申込期日近くに開催した公認競技会の記録を申請記録とする場合は、FAXまたはE-MAILで仮申請を行うことを認める。但し、速やかにシステムの競技会報告の処理を行うこと。
- ④ 選手はインドアスターバッジおよび会員カードを必ず携帯すること。
- ⑤ 個人情報の取扱いについては、申請時に加盟団体は選手本人に第21項の内容を示し了解を得ること。
- ⑥ 競技中の負傷は応急処置のみとし、それ以上の責任は負わない。
なお、出場選手については主催者が傷害保険(スポーツ保険)に加入する。
- ⑦ 納付した参加費等は返還しない。

19. 宿泊および弁当について

宿泊施設、弁当の手配申込は出場決定連絡時に案内する。

20. 選手の心構え

- ① 選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
- ② アンチ・ドーピングについて
競技者は次の役割と責任を担う。(日本アンチ・ドーピング規程 第24条)
 - i 本規程を理解し、遵守すること。
 - ii いつでも検体採取に応じること。
 - iii アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物及び使用物に関して責任を負うこと。
 - iv 禁止物質及び禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規程の違反に該当しないようにすること。
 - v 自身が過去10年間の間にアンチ・ドーピング規則違反を行った旨の非署名当事者による発見の決定をJADA及び自己の国際競技連盟に開示すること。
 - vi アンチ・ドーピング規程違反を調査するアンチ・ドーピング機関及びJSCのドーピング調査に協力すること。
 - vii JADA若しくは国内競技連盟、又は競技者に対し権限を有する他のアンチ・ドーピング機関が要請した場合には、自己のサポートスタッフの身元を開示すること。

【ドーピング検査について】

- i 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ii 競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- iii 選手は、写真付き身分証明証(学生証、社員証、自動車免許証、パスポート等)を持参してください(本人確認のため義務付けられている)。
- iv 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査

の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

- v 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- vi 本競技会参加者は、競技前7日間に服用した医薬品、塗布、注射等医療行為を施したり使用したりしたもの(処方薬、売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携行することが薦められます。
- vii 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- viii 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。

21. 個人情報の取り扱いについて

- ① 使用目的は次の通り。
 - i 加盟団体への出場決定者選考結果通知。
 - ii 大会プログラム作成(大会プログラムは、大会関係者以外に一般およびマスメディアに公開する)。
 - iii マスメディア、会場内での参加選手や観客および加盟団体への成績表の配布並びに送付(ホームページ掲載を含む)。
 - iv 大会運営に必要な場内アナウンス、掲示板等への掲示。
 - v 本連盟の公式ホームページおよびFacebook、YouTube等SNSへの画像・映像の掲示。
なお、掲載されたくない場合は、その旨を事前に本連盟に連絡すること。
 - vi 新型コロナウイルス感染症の管理・追跡などに伴う通知・連絡等。
- ② 上記以外に利用する場合は、本人に通知し承諾を得る。
- ③ その他個人情報の取扱い(プログラム作成時の印刷業者への委託等)については、本連盟個人情報保護規程に基づき行う。

22. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

新型コロナ感染拡大の防止について、次の各項にご協力ください。

- ① 以下の各事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
 - i 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)。
 - ii 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - iii 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ② 必ずマスクをご持参ください(参加受付時や着替え時等の競技を行っていないときや会話をする際にはマスクを着用してください)。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m以上))を確保してください。
- ⑤ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないでください。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従ってください。
- ⑦ 競技終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。